

第3号様式（第4条関係）

罹災（被災）証明申請書

年 月 日

鹿屋市長 様

〔申請者〕	住 所	_____
	氏名(代表者)	_____
	電話 () —	_____
	現在の連絡先	住所 _____
	電話 () —	_____
〔代理人〕	住 所	_____
	氏名(代表者)	_____
	電話 () —	_____
	申請者との関係	_____

世帯主住所				
世帯主氏名				
世帯構成員	氏 名	続 柄	生年月日	備 考
罹災(被災)要因	年 月 日 理由: _____			
罹災(被災)所在地	鹿屋市 (アパート等の場合、名称)			
罹災(被災)届出内容	<input type="checkbox"/> 家屋に被害があった <input type="checkbox"/> 住 家 <input type="checkbox"/> 持家 (住居・空家・貸家) <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> 非住家 (<input type="checkbox"/> 所有・貸家/ <input type="checkbox"/> 貸家) (用途: _____)			
	<input type="checkbox"/> 家屋に被害がなかった 住家以外の被害			
証明必要数及び必要理由	通	(理由、提出先等)		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・この証明は、上記被害の届出がなされたことを証明するものです。 ・民事上の権利義務関係に効力を有するものではありません。 ・記入上の留意点は、裏面を参照してください。 			

裏面

記入上の留意点

- 1 申請者は、申請時に本人であることが確認できるものを提示し、〔申請者〕欄に住所・氏名（法人の場合は代表者の職・氏名）・電話番号、連絡先が異なる場合は現在の連絡先を記入してください。

代理人の場合は、委任状を提出し、上記〔申請者〕欄及び〔代理人〕欄に住所・氏名（法人の場合は代表者の職・氏名）・連絡先・申請者との関係を記入してください。

ただし、代理人が住家等の関係者の配偶者、同居親族若しくは血族二親等以内の親族又は住家等の勤務者である場合においては、委任状は不要です。

- 2 「罹災（被災）所在地」欄には、罹災（被害）のあった建物等の住所（アパート等の建物名称等も含む。）を記入してください。

- 3 「罹災（被災）要因」欄には、罹災（被災）又は罹災（被災）したと思われる日時を記入し、その下段の理由欄には、次の例示のように記入してください。

例1 理由：「〇〇年〇〇月〇〇日に発生した地震」による

例2 理由：「〇〇年〇〇月〇〇日の台風〇〇号の豪雨」による

- 4 「罹災（被災）届出内容」欄には、まず、家屋に被害があった、若しくは、家屋に被害がなかったのどちらかにチェックをしてください。

家屋に被害があった場合は、住家であるか非住家であるか(若しくは両方)にチェックを入れ、住家の場合は、それが持家であるか借家であるかどちらかにチェック、さらに、持家の場合は、住居・空家・貸家のどれかに○印を付けてください。

非住家の場合は、それが自己所有のものか借家であるかにチェックの上、その用途（倉庫・車庫等）を記入してください。

「住家以外の被害」の欄は、次のように、具体的に内容を記入してください。

例1 テレビ（家電製品・家財道具）損壊、流失

例2 自動車（鹿児島550に00—01）が大雨で流失（損壊）

例3 コンバイン（農機具等）（ナンバー〇〇〇）が大雨により流失

- 5 「証明必要数及び必要理由」欄には、罹災（被災）証明書の必要枚（通）数を記入の上、必要とする理由及び罹災（被災）証明書の提出先名称等を記入してください。